



平成28年度 北部方面隊総合戦闘力演習



第731号
平成28年10月31日

方面総監統率方針
任務完遂
方面総監要望事項
使命の自覚
錬磨即応
地域との連携

陸上自衛隊
北部方面隊広報紙
発行：北部方面総監部広報室

北部方面隊
ホームページ
<http://www.mod.go.jp/gsd/nae/>

北部方面隊一丸となり執念をもって任務完遂

北部方面隊は、9月26日から10月5日までの間、方面隊の総合戦闘力を最大限に發揮して、侵略事態に対処する能力の向上を図ることを目的と

して、平成28年度北部方面隊総合戦闘力演習を実施した。

本演習において、陸上自衛隊の道場である北海道の道内各演習場に加え、北海道沿岸部及び奥尻島等の部外地に部隊を展開し

た。今年度で6回目の実施となり、東北方面隊、海上自衛隊大湊地方隊、航空自衛隊北部航空方面隊が参加し、人員約1万2千人、車両約3千両、航空機約40機、艦船3隻に及び過去最大規模の演習となった。第5旅団、第11旅団の防衛演習及び方面隊の火力、航空兵站の機能を練成するとともに、5コ方面隊直轄部隊（北部方面隊、第1電子隊、北部方面隊後方支援隊、第1電子隊、北部方面隊情報隊）の訓練検閲を実施すること、施設、電子戦情報の機能を連携させた。



防衛演習における旅団指揮所掩壕の構築

また、北部地域自衛隊総合演習を北部方面隊が担任し、北部方面隊総合戦闘力演習と併せて、協同対艦、協同防空、情報共有の統合課目を実施し、統合作戦環境下における方面隊の作戦を練成するとともに、統合運用の具

体化を図った。各地で実施する訓練を一元的な統裁で実施し、方面隊全体でオペレーションできるような構成とした。

参加した各部隊は、不撓不屈の精神で困難な状況を克服し、それぞれの任務を完遂して約10日間にわたる本演習の状況が終了した。

本演習を通じ、北海道におけるあらゆる事態への対処能力の向上に加え、我が国の有事において全国各地へ展開するフォースプロバイダーたる方面隊として、作戦遂行能力を向上させ、統合機動防衛力の構築に貢献

することができたものと確信し、北部方面隊は引き続きいっぴかなる任務にも即応して、これを完遂できるよう、陸上自衛隊のあるべき姿を追求、錬磨に励み、更に足腰の強い部隊の育成に邁進する。

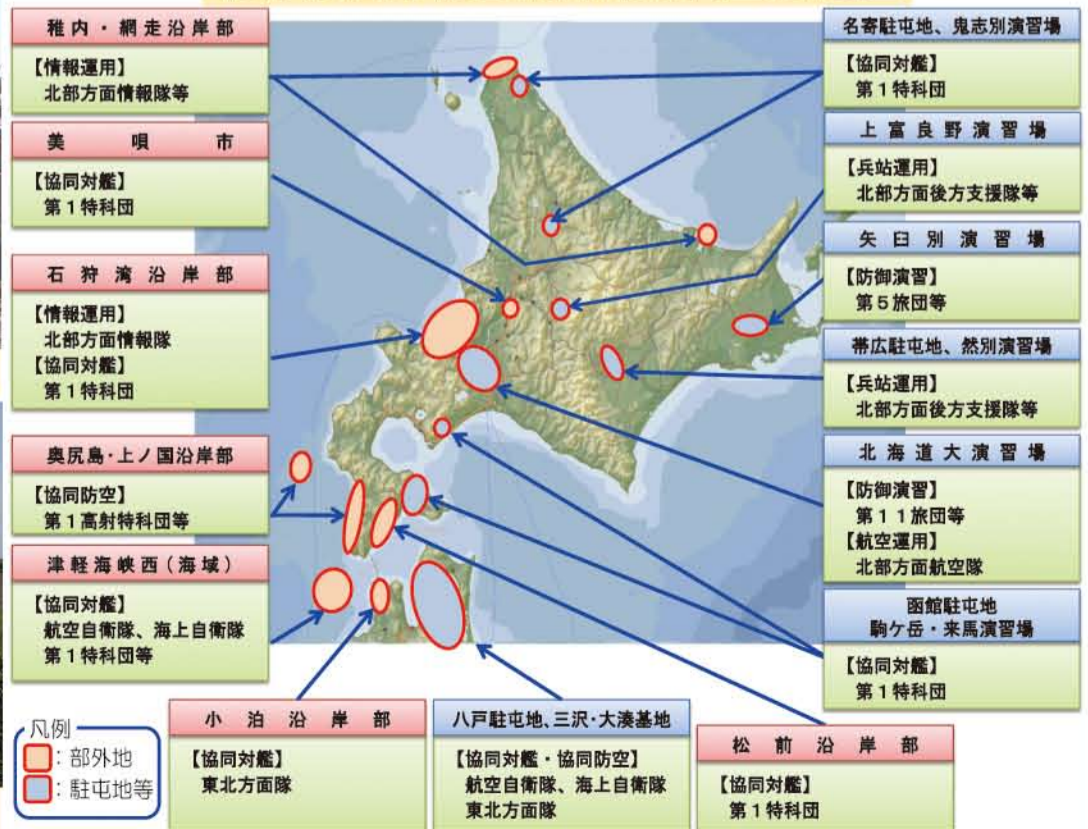


特科部隊による長射程実弾射撃



対機甲戦闘へ出撃する対戦車ヘリ

北部方面隊総合戦闘力演習全般配置



輸送ヘリによる空中機動



警戒部隊の戦闘



旅団指揮所を築城する施設隊



石狩浜に展開した無人偵察機

北部方面施設隊



茨戸川における架設橋の警戒



輸送経路を確保する92式浮橋



小樽トリービーチに展開する水陸両用車



あらゆる手段を活用した長距離輸送



物的戦闘力を維持する野整備



陣地占領を完了した電子戦部隊

北部方面後方支援隊

9月26日から10月5日までの間、北部方面隊総合戦闘力演習の場を活用し、各方面直轄部隊の平成28年度訓練検閲を実施した。

本検閲を受閲したのは、北部方面施設隊(隊長 長 鶴居 1佐、北部方面後方支援隊(隊長 秋山 1佐、第1電子隊(隊長 光井 1佐、北部方面対舟艇対戦車隊(隊長 三上 2佐、北部方面情報隊(隊長 岡 1佐)の5個部隊であり、10夜11日の長期にわたり実施されたが、各部隊とも隊長を中心に一致団結するとともに、終始隊員の士気は高く、任務達成のためあらゆる困難を克服し、それぞれ与えられた任務を完遂した。

方面直轄部隊訓練検閲

第1電子隊



隊容検査

9月26日から10月5日までの間、北部方面隊総合戦闘力演習の場を活用し、函館駐屯地、駒ヶ岳演習場、奥尻島等、道南地域において、海上自衛隊、航空自衛隊及び東北方面隊の一部の部隊と協同し、北部地域自衛隊統合演習を実施した。

本演習は、第1特科団(団長 徳川 将補)が担任、実施した「協同対艦訓練」と第1高射特科団(団長 木口 将補)が担任、実施した「協同防空訓練」が実施され、協同対艦訓練では、地对艦ミサイル部隊を道南の各地域に展開させ、統合運用における海上自衛隊との協同要領及び陸自単独での対艦射撃の要領を訓練した。

また、協同防空訓練では、各部隊を奥尻島周辺に展開させ、統合運用における航空自衛隊との連携要領、実機を使用した対空戦闘要領について訓練し、各協同部隊との異なる連携強化と対艦・防空能力の向上を図った。

北部地域自衛隊統合演習

協同対艦訓練



海上自衛隊との協同対艦射撃



函館駐屯地に展開する統制装置



葛登支岬に展開する対艦レーダー

協同防空訓練



陣地占領を準備するホーク部隊



航空自衛隊と情報を共有しての対空戦闘



無人偵察機の操縦



操縦機の警戒



無人偵察機の開設準備

北部方面情報隊



96式多目的誘導弾 (MPMS) による射撃



実弾射撃



掩蓋掩体への進入

北部方面対舟艇対戦車隊



建設当時の分屯地 (昭和43年12月頃)



現在の礼文分屯地の隊員

北の駐屯地 その歩み

第29回 礼文分屯地

礼文分屯地は、ロシアのサハリンと宗谷海峡を挟んで国境を接する日本最北端の離島、礼文島に位置する名寄駐屯地の分屯地である。

礼文島は、先住民のアイヌの人々が「レフン(沖の・シリ(島))」と呼ばれていたことが由来とされ、明治13年に開基した礼文村と、昭和31年に合併した礼文町となった。町の人口は、ニシン漁で栄えた昭和30年頃をピークに1万人を越えていたが、平成28年8月現在では約2700人までに減少した。島の特色は、本州では2千m級の山々で見られる高山植物が、海拔0mから鑑賞でき、約300種類の花々が群生している。

島全体が自然の公園であるこの島を、人々は親しみをこめて「花の浮島」と呼んでいる。気象特性として、夏季は平均気温が18度と涼しく、冬季は氷点下6度と温暖であるが、1年を通じ風が強く、毎月の最大風速は40m以上を記録する。このため、冬の体感温度は非常に寒く感じる。降雪自体は道北内陸部に比し少ないが、吹雪による吹溜りが生じやすく、しばしば交通障害を引き起こしている。

礼文分屯地は、昭和43年3月に札幌で編成完了した第301沿岸監視隊派遣隊が、同年12月に礼文町に移駐してから今年で48周年となった。この間、昭和44年稚内会計隊

員の派遣、同54年第301基地通信隊礼文派遣隊、同57年名寄駐屯地業務隊礼文管理班の移駐、平成21年稚内会計隊員の撤収を経て現在に至っている。主力部隊である第301沿岸監視隊派遣隊は、24時間365日、本島域周辺の艦艇・航空機を監視する実任務部隊であり、これを支援する基通派遣隊、礼文管理班とともに、厳しい自然環境を克服しつつ逞しく勤務している。また、町との連携は親密であり、春の海岸清掃、神社祭典担ぎ、湖畔祭り、独居老人宅の除雪等、様々な行事を支援している。また、町からは分屯地隊員の転出入に伴う歓迎会を、礼文町自衛隊協力会に開催して頂く等、町長始め多数の町民が我々を暖かく迎えて頂いている。

礼文分屯地は、分屯地隊員が丸となり、町との「信頼」を維持するとともに、最北の自衛隊員としての誇りを胸に、今後も日夜「任務完遂」を続ける。

オピニオン

第6期方面隊オピニオンリーダー 永田 晴紀



防衛装備庁が大学等の研究機関を対象に研究テーマの公募を行う「安全保障技術研究推進制度」が整備されてから、研究のデュアルユースが議論される機会が増えました。デュアルユースとは、1つの技術が民生と軍事のどちらにも利用できることを呼びますが、我が国では軍事利用への懸念という文脈で語られることが多いです。東大を始めとする旧帝大が軒並み、上記制度への応募を自粛するよう学内に通達している中、筆者が所属する北海道大学は応募を許容しており、実際に研究費を獲得した研究者もいます。流石は北軍大佐として1個連隊を率いて南北戦争を戦ったクラーク博士が気風の礎となった大学は、肝が据わった適切な判断をします。しかし、これを獲得した研究者を批判的に報道するメディアが少なくありません。

先の大戦中、米国が我が国に先んじて開発し、ミッドウェーでの完敗の一因ともなったレーダーには、東北帝国大学の八木秀次教授が発明した八木アンテナが使われていました。我が国でこの技術が軍事利用されなかったのは決して喜ばしい話ではないのですが、これを喜ばしい事と評価しかねないのが今の雰囲気です。軍事力を準備することと行使する事は次元が異なる話で、しっかりと準備をした上で行使しないのが理想ですが、準備も悪であるというナイーブな論調がデュアルユースの議論に付き纏います。

米国では、巨大な予算を持つ国防総省が研究機関に広く研究費を配分し、革新的であるが高リスクな技術開発を支える役割を果たしています。インターネットやGPSもこの枠組みから誕生しました。防衛技術の基盤強化と同時に高度な技術開発のリスクを国が支えるために、防衛分野と民生分野がどのように連携すればよいか、という成熟した議論が望まれます。「安全保障技術研究推進制度」が、その切っ掛けになることを祈念しつつ、オピニオンリーダーを拝命している研究者という立場からの意見表明も積極的に行っていきたいと考えています。

【北海道大学大学院工学研究院機械宇宙工学部門 教授】

人生に潤いを与える言葉

『菜根譚 (さいこんたん)』の語る人生訓は、その置かれた境遇に適切に対処することを具体的に述べています。

官に居ては、竿牘も節なかるべからず。

郷に居ては、崖岸太だ高かるべからず。

(前集・210)

即ち「官職についている間は、一通の手紙を出すにも正しく節度がなければならぬ」とし、また「退職して郷里に居るときは、余り威厳ぶり高ぶってはならない」というのです。

つまり、「公的な立場では細心の注意を払い自分の心を見すかされないようにしなければならないが(官職を退いてからは)温和な心で人に接するように心がけて、旧友との交わりを厚くするのがよいというのです。」

また『菜根譚』に「事を謝するは、常に正盛の時に謝すべし。身を居くべし」(前集・154)と述べているように、「官職を去るには、全盛の時がよく、辞めて身を置くのは、人と争うことのないところがよい」というのです。

人生の処し方として、心すべきことではないのでしょうか。

心の健康相談 メンタルヘルス・カウンセラー
根本 和雄

求む！ 縁故情報！

ここには、もつといはらず...

充足率向上は、
隊員一人ひとりの情報にかかっている。
小さな情報でも情報提供を！



その貴重な情報は、所属中隊等の人事担当者又は最寄りの地本地域事務所広報官へ

※H27年度成果に基づく表彰(H28年に表彰)から上記の防衛記念章を授与

縁故募集による賞詞受賞者

■第3級賞詞

第2師団	陸士長	芳賀	達也
同	1等陸士	高橋	主心
同	陸士	池田	徳広
第11旅団	陸曹長	増田	史萌
同	陸曹長	太田	
同	2等陸曹	富木	
同	1等陸曹	沢村	

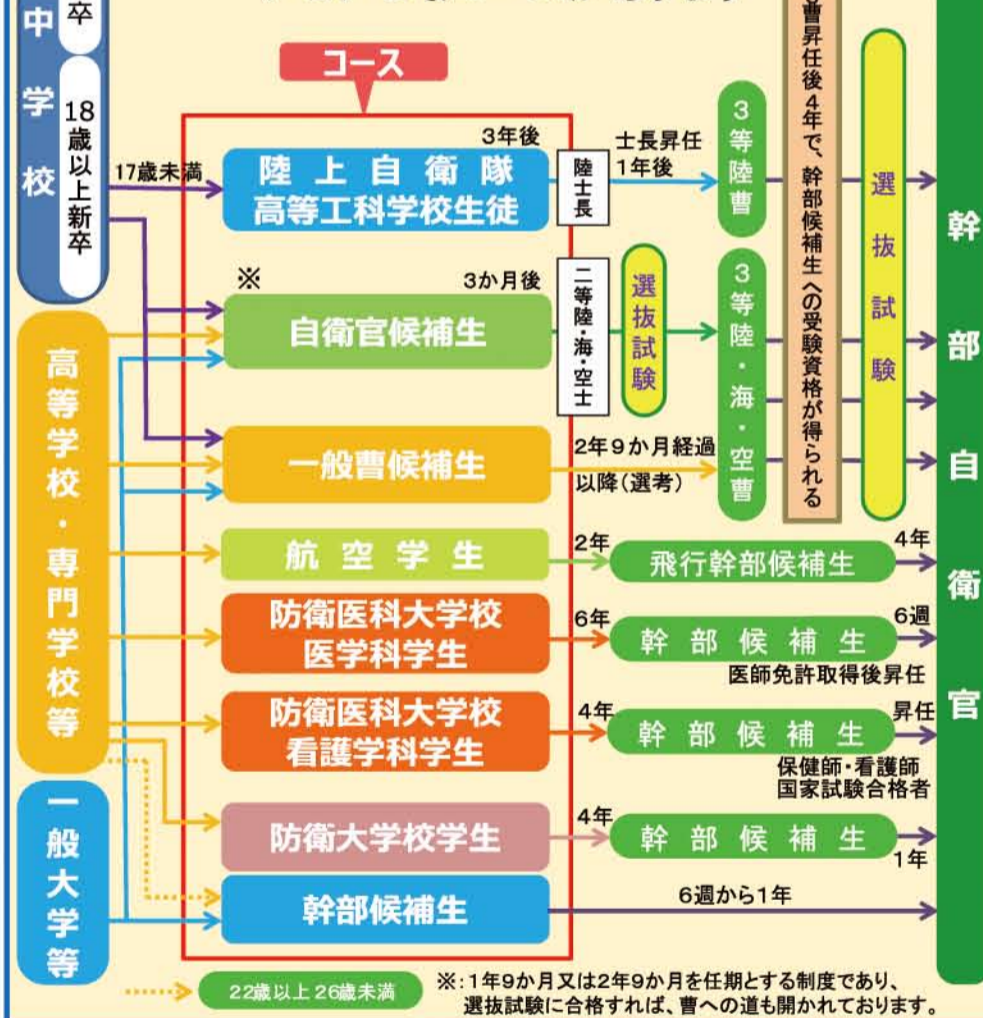
■第4級賞詞

第2師団	陸士長	三片	河浩
同	1等陸曹	部川	浩志
同	3等陸曹	藤末	博諒
同	陸曹長	青笹	大儀
同	1等陸曹	田竹	正隆
同	1等陸曹	堀川	直伶
第7師団	陸士長	永木	優翔
第5旅団	陸士長	村中	正与
同	1等陸士	田江	勇英
同	1等陸士	角井	直樹
第1特科団	2等陸曹	日浅	
北部方面後方支援隊	陸士長		
北部方面情報隊	1等陸曹		
南恵庭駐屯地業務隊	1等陸曹		

■第5級賞詞 339名(方面隊内合計)

自衛官

になるためには
いろいろなコースがあります



受験資格、受付期間、試験日等細部は、各地方協力本部へお問い合わせ下さい。

問合せ先	札幌地方協力本部 011(631)5472	函館地方協力本部 0138(53)6241
	旭川地方協力本部 0166(51)6055	帯広地方協力本部 0155(23)5882

平成28年度自衛官等募集案内

募集種目	応募資格	受付期間	試験期日	合格発表
自衛官候補生(男子)	18歳以上27歳未満の男子	年間を通じて行っております。	札幌・旭川・函館・帯広の各地方協力本部へ直接お問い合わせ下さい。	合格発表は試験日にお知らせします。
防衛大学校学生	一般(後期) 高卒(見込含)21歳未満の男女(自衛官は23歳未満)	29年1月21日(土)～1月27日(金)	1次: 29年2月18日(土) 2次: 29年3月10日(金)	1次: 29年3月3日(金) 最終: 29年3月17日(金)
陸上自衛隊	推薦 ※1	11月1日(火)～12月2日(金)	29年1月7日(土)～9日(月) ※いずれか1日を指定されます。	29年1月18日(水)
	一般 男子で中卒(見込含)17歳未満の者	11月1日(火)～29年1月6日(金)	1次 29年1月21日(土) 2次 29年2月2日(木)～5日(日)	1次: 29年1月27日(金) 最終: 29年2月17日(金)
自費学生	技術 ※2	11月1日(火)～29年1月10日(火)	29年1月28日(土)	29年4月下旬

※1: 男子で中卒(見込含)17歳未満の、成績優秀かつ生徒会活動等に顕著な実績を修め、学校長が推薦できる者
※2: 大学の理学部、工学部の3・4年次又は大学院(専門職大学院を除く)修士課程在学(正規の修業年限を終る年の4月1日現在で26歳未満(大学院修士課程在学者は28歳未満))

◆他の種目や詳しい内容は最寄りの自衛隊地方協力本部へお問い合わせ下さい。

2016年テレビCM～それぞれの選択～

Web特別コンテンツ～なぜ?自衛官～... 詳しくは自衛官募集ホームページへ

わたし、おれ、

自衛官になる。

その気持ちで、この国を守るチカラになる。

なぜ? 自衛官募集

自衛官募集 検索

季節も秋から冬へと変わり初め、札幌において、平年より8日早く初雪が観測され、街角では冬支度を急ぐ人が多く見られました。◆今号で特集した平成28年度北部方面隊総合戦力演習は、北部方面隊が今年度最も重視して取り組んで来た演習で、過去においても、これ程大規模な演習はなかったと思えます。参加人員数や参加装備数など、同規模の演習はあつたかも知れませんが、道内各地に展開する全ての部隊が、海・空自衛隊等の協同部隊も含め、同一の土俵上で実動するという演習は、北部方面隊のみならず他方面隊においてもあまり類を見ず、北海道という良好な訓練環境と、重戦力を誇る北部方面隊ならではの演習であるといえます。◆本演習において、約10日間にも及ぶ連続状況下で訓練を実施したにも拘わらず、状況終了後も更に約1週間訓練を継続した部隊も少なくなく、北部方面隊各部隊の足腰の強さと隊員の士気の高さを象徴していると思えます。◆今年度北部方面隊総合戦力演習は終了しましたが、陸上自衛隊のDNAの継承と、基準杭たる方面隊としての役割を果たすため、北部方面隊は、これからも本演習を継続実施し、その成果を全国に発信し続けます。◆本演習の実施に当たり、関係機関、自治体関係者、地域住民の皆様のご協力を頂いた方々に、この場を借りて厚く御礼申し上げます。

編集後記